

# press release

2011年8月4日

(これは、ロンドンにて2011年8月3日付で配信したものを、日本の皆様に向けて抄訳したものです)

## スタンダードチャータード PLC 2011 年度上半期決算発表 税引き前利益 36.4 億米ドル(前年同期比 17%増)

### 多様な収益源および商品ラインに後押しされ、2 桁の収益成長

#### 業績ハイライト:

- ・ 商品および市場全体の力強い成長基調により、グループの営業収益が 11%増加
- ・ 厳格な費用管理、コスト上昇率を上回る収益成長率
- ・ コア Tier 1 資本比率 11.9%と資本基盤をさらに強化
- ・ 流動性の高いバランスシート、預金残高は 19%増の 3,430 億米ドル、預貸率は 78.1%と堅調
- ・ コンシューマーバンキング部門は、リポジショニングが進み税引き前利益が 58%増加
- ・ ホールセールバンキング部門の税引き前利益は、5%増の 25.9 億ドルを計上
- ・ RoE(株主資本利益率)13%、配当金額 10%増と、引き続き高い株主貢献度

8月3日付で発表された2011年度上半期におけるスタンダードチャータード PLC(スタンダードチャータード銀行の最終持株会社。本社:ロンドン、CEO:ピーター・サンズ)の営業収益は、前年同期比 11%増\*の 87.6 億米ドル、税引き前利益は 17%増の 36.4 億米ドルを計上し、9 期連続で最高益を更新いたしました。当行グループの収益は、新しい商品群と収益源への最近の投資が奏効し、多くの商品および地域にわたり多角的かつ堅調に成長いたしました。流動性が高く、潤沢かつ拡大するバランスシートが収益の伸びを下支えする一方で、厳格なコスト管理を維持しています。当行が事業展開する地域において、中流階級層の急成長とともに貿易取引および投資活動が急速に発展していることから、アジア・アフリカ・中東地域でさらなるオーガニック成長を遂げる好機を予想しています。

当行グループは、引き続きオーガニック成長を支えお客様をサポートするため、健全なバランスシートを重視しながら、不透明なマクロ経済および規制による悪影響を確実に排除しています。事業展開する市場の多くで競争が激化する中、幅広い商品で市場シェアを獲得し、顧客預金および融資が増加しました。顧客預金は 19%(550 億米ドル)増の 3,430 億米ドルとなり、預貸率は 78.1%と低い水準を維持しています。流動性の点でも、現金または短期金融資産が 1,500 億米ドルと引き続き高い水準を維持しており、ポルトガル、アイルランド、イタリア、ギリシャまたはスペインのソブリン債に対する影響はございません。

スタンダードチャータードは、事業展開する市場において経済成長と発展の支援を続け、融資総額は 22%増、中小企業(SME)向け融資は 38%増となりました。住宅所有者を支援しており、住宅ローンが 19%増加しました。当行の顧客融資の質は引き続き向上しており、ホールセールバンキング部門では満期 12 ヶ月未満の融資残高が 67%に達し、また不動産融資の貸出比率は不動産価値に対して 49%と低水準を維持しています。コンシューマーバンキング部門の融資減損が前年同期比 29%と大幅に減少したことに後押しされ、グループ全体の融資減損は 6%減の 412 百万米ドルとなりました。ホールセールバンキング部門の融資減損は 46%増の 201 百万ドルでした。当行は厳格かつ積極的なリスク管理態勢を維持しています。

地域別の業績は幅広く十分に分散化されています。インドを除く全地域で営業収益が順調な伸びを見せ、香港で29%、シンガポールで20%、それぞれ増加しました。インドでは、金利の上昇および競争の激化による純資金利益の減少により、税引き前利益と営業収益がそれぞれ39%減、12%減となりました。市場におけるガバナンス上の懸念から企業景況感が影響を受けたため、プロジェクトおよび取引のフローは減速しています。当行は、インドが2030年までに世界第三位の経済大国になり、当行はその強みと競争力をもってその好機をとらえる優位な位置にあるという見通しを変えておりません。

当行グループは競合他行に対して市場シェアを拡大し、ホールセールバンキング・コンシューマーバンキング両部門で、多くの商品・サービスにわたり事業の拡大が見られました。

コンシューマーバンキング部門は、事業再編成プログラムが順調に進展したため、当上半期の営業収益および税引き前利益がそれぞれ15%増、58%増となり、力強い業績を達成しました。営業収益の伸びは多岐にわたっており、住宅ローン、クレジットカード、個人向け融資で取引量が順調に増加し、さらに預金残高の伸びが引き続き堅調に推移しました。預金を重視する一方で、当行は、中核市場の一部で負債サイドの利鞘拡大の恩恵を受ける優位な位置を占めています。アジア地域では新興中流階級層が拡大を続けていることから、プライベートバンキング、プライオリティバンキング、SME向けバンキングといった高価値のセグメントはすべて10%を超える伸びとなりました。

ホールセールバンキング部門では、顧客収益が9%増の44.4億米ドルと最高益を計上する一方、上半期の営業収益および税引き前利益も、それぞれ8%増、5%増と最高益を達成しました。顧客収益は、現在ホールセールバンキング部門総収益の82%を占めています。当行は引き続き、事業展開する市場に関わる貿易取引および投資活動のフローをサポートし、顧客の需要を満たす新しい商品・サービスに投資しながら、収益基盤をさらに拡大しています。収益は、トレードファイナンスが11%増、為替取引が19%増、商品・株式が93%増となる一方、キャピタルマーケット事業では16%増加しました。キャッシュマネジメントでは、取引量が引き続き増加して26%増、収益は33%増加しました。ホールセールバンキング部門では、引き続き営業収益および税引き前利益が上昇する一方、厳格なコスト・リスク管理を維持し、2011年度下半期に向けて強固な取引パイプラインを有しています。

当行グループ最高経営責任者(CEO)であるピーター・サンズは以下のように述べています。

「当行は、営業収益および税引き前利益がともに最高益を計上し、バランスシートを拡大し、また資本水準および配当を高めることができるなど、大変好調な業績を達成いたしました。この成長は弾力性があり、多岐にわたっています。当行は、中流階級層の急速な拡大にともなって急増しているアジア・アフリカ・中東地域の貿易取引および投資活動の中心部という独自の位置を占めており、当行のネットワーク全体で高い収益成長を実現する素晴らしい機会を予想しております。」

詳細につきましては、下記の担当者へご連絡ください。

**Jon Tracey, Head of Media Relations**  
**Standard Chartered Bank**  
**Tel: +44 20 7885 7613 / +44 7730 051846**  
**jonathan.tracey@sc.com**

日本語でのお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行  
コーポレート・アフェアーズ部  
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9311  
[CA.japan@sc.com](mailto:CA.japan@sc.com)

## 財務実績ハイライト

(単位:百万米ドル)

グループ	2011 年度上半期	2010 年度上半期	増減(%)
営業収益	8,764	7,924	11
費用	4,677	4,344	(8)
融資の減損	412	437	6
税引き前利益	3,636	3,116	17
<b>ホールセールバンキング部門</b>			
営業収益	5,427	5,012	8
税引き前利益	2,590	2,471	5
<b>コンシューマーバンキング部門</b>			
営業収益	3,337	2,912	15
税引き前利益	1,013	643	58

## 税引き前利益(国・地域別)

(単位:百万米ドル)

国・地域名	2011 年度上半期	2010 年度上半期	増減(%)
香港	790	511	55
シンガポール	465	419	11
韓国	193	149	30
その他アジア 太平洋地域諸国	846	579	46
インド	378	624	(39)
中東南アジア	429	400	7
アフリカ	291	311	(6)
米州・欧州 (英国を含む)	244	123	98
合計	3,636	3,116	17

(注)

\* 特に別記のない限り、本リリース中の数字はすべて 2011 年度上半期と 2010 年度上半期の比較です。

### **スタンダードチャータード銀行ーアジア・アフリカ・中東地域における先駆者として**

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータード PLC は、ロンドン証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースで FTSE100 構成銘柄の上位 20 社にランキングされています。ロンドンに本拠地を置く当行グループは、創立以来 150 年以上の歴史を誇り、世界で最もダイナミックな市場ーアジア・アフリカ・中東地域における先駆者として事業展開しています。また、その営業収益および税引き前利益の約 9 割は同地域市場から創出されており、ここ数年にわたる収益成長は、現地に根ざし、その地のお客様とさらに親密な顧客リレーションシップを構築するという当行のコミットメントによるものです。

また、スタンダードチャータード銀行は、世界 70 カ国以上で 1,700 余の店舗展開をするグローバル事業ネットワークを有し、総勢 80,000 余名の行員に国際的なキャリア構築の機会を提供しています。また、長期的視野に立ったサステナビリティ(持続性)のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでの企業統治(コーポレートガバナンス)を保持するとともに、社会的責任を果たし、環境保護、および、多様性に富んだ人材育成にも力を注いでいます。新しいブランドプロミスである「Here for good」は、当行のこのような伝統と企業価値を表すものです。

### **日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について**

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で131年目を迎えます。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店(千代田区・岸本ビル)において約270名の従業員を擁しています。アジア・アフリカ・中東の各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けに貸出、カストディ、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): [www.standardchartered.com](http://www.standardchartered.com)

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): [www.standardchartered.co.jp](http://www.standardchartered.co.jp)

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語):

[www.standardchartered.co.jp/index\\_english.html](http://www.standardchartered.co.jp/index_english.html)